

6月は土砂災害防止月間です

土砂災害で自分と大切な人たちを失わないためにわたしたちのできることは?



まず、調べよう
【今、居るところ(住んでいる場所)はどのような場所ですか?】
【大切な人(どのような場所)にはありますか?】
【学校は?】
【職場は?】

どのタイミングでどこに避難するか
だれと避難するか
自分と大切なひとの最善策は?
あらかじめ準備をし、決めておく

「自分で行動!」

岡山県の過去20年間のデータに基づき災害が発生する降雨量や土質など地域特性を分析。この本には災害から命を守る強い思いと、そのための行動のヒントがあります。

『命を守るための土砂災害読本』

岡山県過去20年の降雨量に基づいて
●佐藤文晴(岡山理科大学生物地球学部生物地球学専攻准教授)
●定価: 1400円+税

さらに! 子どもの命を守る防災教育絵本! 『土砂災害のきほん』
○佐藤文晴 ○定価 1200円+税



そしてもう1冊

自然科学分野 民俗学の立場から 岡山の災害を 科学する

「岡山の「災害」を科学する」
岡山理科大学『岡山学』研究会 編
シリーズ『岡山学』第9弾 ○定価 1400円+税

第2回「おかやま地産知書フェア」開催中!

(主催: おかやま県産本ネットワーク)
於: 丸善岡山シンフォニービル店 地階特集コーナー
期間: 5/10(火)~7/10(日)
【トワイイベント】のお知らせ・入場無料

★6月18日(土)
青山 融さん
青山さんの「岡山弁再発見」
「でーれー」「ほっけー」「もんげー」
「うったこ」
など岡山弁の魅力を解説

★7月2日(土)
守屋益男さん
「80歳、キリマンジャロ登頂記」
今年初の80歳でキリマンジャロ
最高地点ウフルピーク(5895m)
踏破!

★11日(日)も「地産知書フェア」会場にて ★午後2:00~3:00

吉備人からは22点が「選定図書」に

日本図書館協会選定図書事業が終了

新刊書籍の中から、どの本も蔵書とするの選択は図書館にとって最も重要な仕事です。日本図書館協会の図書選定事業は、小情報が乏しかった戦後まもない、1949年に始まり、「選定図書」として図書館に新刊情報を伝え、備える図書の選定に参考となる書誌情報を発信してきました。

現在では年間6万点にも及び各出版社の新刊は取次会社を通じてほぼ全点、協会に提供され、選定委員約50名が、実際にその書籍一冊一冊に必ず目を通し、「選定図書」を選択。毎年、全新刊出版点数の約15~20%が選ばれていました。

しかし、選書の参考となる情報の提供状況の変化にともない2016.3月に第2990回で終了も決定。著者や発行人にとって「選定図書」は「良い本をつくりましたね」と認定された誇りとなるものだっただけに残念です。

★吉備人出版では 事業終了までに以下の22点が選ばれていました

選定日	書名	著者
2000.1.12	オリーブの島の盲導犬オルガ	土井忠行
2000.8.30	その映画に塵はない	世良利和
2000.10.4	吉備の古墳 上	乗岡実・行田裕美 編
2000.10.4	吉備の古墳 下	葛原克人 古津瀬清彦
2001.1.17	草戸千軒	岩本正二
2004.7.7	岡山の文化財	臼井洋輔
2006.2.15	石棺と陶棺	倉林真砂斗
2007.6.13	小西増太郎・トルストイ・野山崎武吉郎 -交情の軌跡も 太田健一-	
2008.9.3	私の子宝相談	歳森三千代
2009.2.18	金鉄道遺産を歩く	小西伸彦
2009.3.25	日本ジーンズ物語	杉山慎策
2009.6.3	音楽さえあれば	岩崎淑・岩崎流
2012.11.14	吉備の古代史事典	薬師寺真一
2013.2.27	小さなパン屋の革命	河上祐隆
2013.6.5	肖像画家犬飼恭平	ティヴィー美代子 編著
2014.3.5	みまさか金鉄道ものがたり	小西伸彦
2014.11.26	命の授業	おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ
2015.2.25	8000を渡った杭オカスくん	岡田謙吾 石井晃二
2015.3.4	備前焼細工物	目賀道明・相原武弘
2015.4.15	「正太」の誕生	劉迎
2015.7.8	夜中にミシンを踏みながら	間野菜々江
2015.12.16	命を守るための土砂災害読本	佐藤文晴